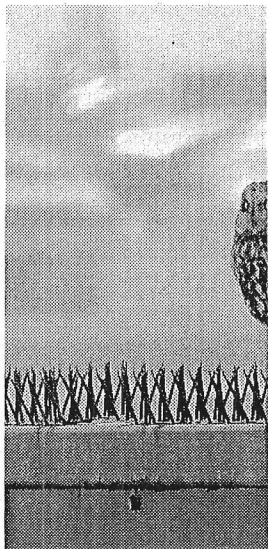


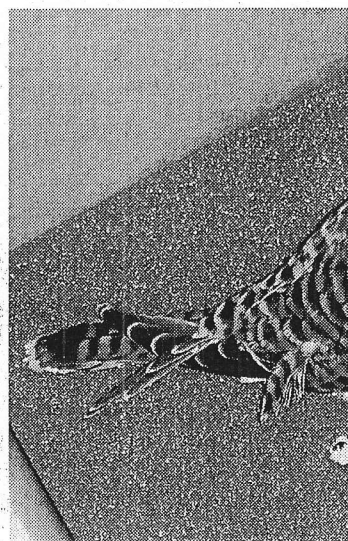
絶滅危 49種の

米軍横田基



コミミスク

基地内で羽を休めるコミミスク―読者提供



チョウゲンボウ

けがらび込ませヨウゲンボウ=米軍横田基地

服にひと吹き清涼感

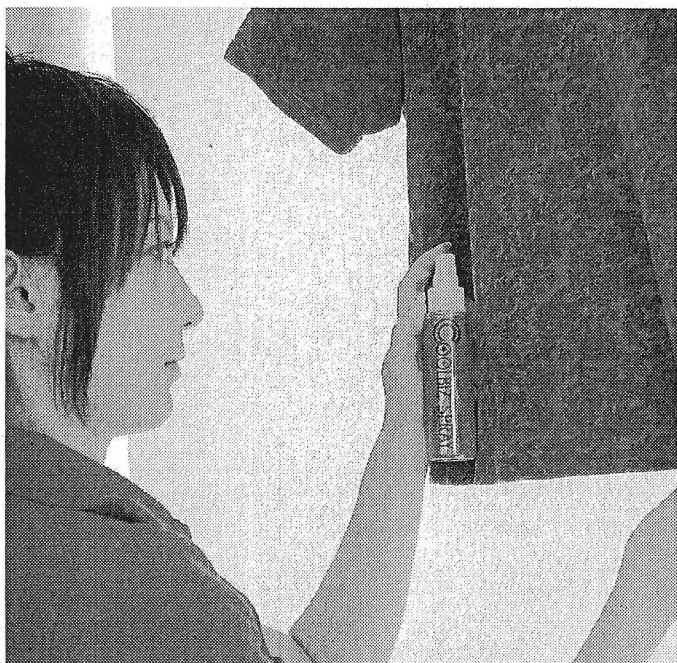
夏に 売れる

都会の猛烈な照り返しの中を歩く外回りのビジネスマンの「秘密兵器」になりそうなのが、「クールビズスプレー」(1000ミリトル、税込み2100円)だ。

着替える直前、ワイシャツやTシャツにシュッとひと吹き。襟元や背中、わきの下など汗ばむ場所に風が通ると、スーッとした清涼感が2時間ほど続く。他人にさらされずにひんやりできる。

国際科学工業(本社・埼玉県新座市)が2年前に開発し、今年から本格的に売り出した。エチルアルコールとメントールが主原料。液体が蒸発するときに衣類の熱を

「クールビズスプレー」



洋服にスプレーすると涼しく感じる「クールビズスプレー」=埼玉県新座市野火止5丁目

奪い、清涼感のあるメントールとの相乗効果で体感温度を下げるというふれこみだ。同社の主力商品は業務用の洗

剤。社員32人の小さな会社のため、テレビやネットによる通信販売がメインだが、真夏日が続いた今年は7月だけで1万本以上を売り上げたという。「手持ちの洋服を涼しくできたらいいのに」。家庭用品の企画・営業を担当する同社役員の濱野正

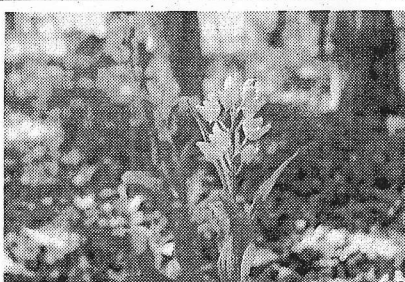
子さん(37)が、営業先の客から言われたこの一言が開発のきっかけになった。

市販されているクールビズ仕様の洋服が自分の好みには合うとは限らないし、新たに買うにはお金もかかる。肌に直接つける清涼化粧水や冷却スプレーのように、いま持っている洋服そのものを冷やすスプレーをつくったらどうだろう。

工夫したのは、液体の透明性。乳化剤を配合すると品質は安定するが、スプレー液が濁って衣類にシミが残るおそれがある。クリーニング洗剤をつくる会社が、シミを残すような製品を世に出すわけにはいかない。原料の比率や配合の手順を変えて何度も実験を重ねた。

「中小企業は発想のユニークさが勝負」と濱野さん。新たな機能を加えた、次に向けた商品研究も進んでいる。問い合わせは同社(048・478・5170)へ。(水野雅恵)

滑走路付近はチョウゲンボウが獲物を探し、急降下し捕獲する。上昇気流に乗ったトビも滑空する。基地内で態系のバランスが保たれ、の頂点に猛禽類が存在する明だという。誘導灯が設置された滑走



キンラン

横田基地内 咲く絶滅危 II類のキンラン=同基地提

全国高校総体

5日

◇卓球

▽ダブルス準々決勝

石藤 川井 1111711
大阪 天王 3 11116
寺 4 9 1 岡伊
(武蔵野)

▽団体準決勝

四天王寺 3 単2100 0 武蔵
(大阪) 複1100

◇柔道

▽団体3回戦

国際科学工業 [新座市]

クールビズスプレー



衣服の上から吹きつけると、自然な涼感を味わえるスプレー。

衣類の上に直接吹きかけて、体感温度を下げる清涼スプレー。人体への害のない植物成分(ミント)を主成分としており、成分が蒸発するときの気化作用などにより、約2時間半ひんやり感が持続するという。

枕やシーツに吹きかければ、夜の寝苦しさが軽減される。香りは、爽やかなミントの香り。虫が嫌いな植物成分を配合しているため、真夏のアウトドアにも適している。

平成19年度埼玉県ベンチャー企業

優良製品コンテスト 2007ガイドブック



彩の国 埼玉県